

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

IN RE APPLICATION OF: Hajime NISHIMOTO

GAU:

SERIAL NO: NEW APPLICATION

EXAMINER:

FILED: HEREWITH

FOR: ONLINE SHOPPING APPARATUS AND METHOD OF PERFORMING COMMUNICATION WITH  
TERMINAL STORING UNREWRITABLE IDENTIFICATION INFORMATION

REQUEST FOR PRIORITY

ASSISTANT COMMISSIONER FOR PATENTS  
WASHINGTON, D.C. 20231

SIR:

- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Application Serial Number, filed, is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §120.
- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Provisional Application Serial Number, filed, is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119(e).
- ☒ Applicants claim any right to priority from any earlier filed applications to which they may be entitled pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119, as noted below.

In the matter of the above-identified application for patent, notice is hereby given that the applicants claim as priority:

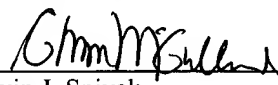
<u>COUNTRY</u>	<u>APPLICATION NUMBER</u>	<u>MONTH/DAY/YEAR</u>
JAPAN	2001-094757	March 29, 2001

Certified copies of the corresponding Convention Application(s)

- ☒ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee
- ☐ were filed in prior application Serial No. filed
- ☐ were submitted to the International Bureau in PCT Application Number .  
Receipt of the certified copies by the International Bureau in a timely manner under PCT Rule 17.1(a) has been acknowledged as evidenced by the attached PCT/IB/304.
- ☐ (A) Application Serial No.(s) were filed in prior application Serial No. filed ; and  
(B) Application Serial No.(s)
- ☐ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee

Respectfully Submitted,

OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,  
MAIER & NEUSTADT, P.C.

  
\_\_\_\_\_  
Marvin J. Spivak

Registration No. 24,913  
C. Irvin McClelland  
Registration Number 21,124



22850



日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

Jc971 U.S. PTO  
09/921559  
08/06/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 3月29日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-094757

出 願 人

Applicant(s):

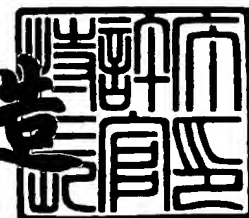
三菱電機株式会社

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

2001年 6月27日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3060564

【書類名】 特許願

【整理番号】 530782JP01

【提出日】 平成13年 3月29日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60  
G07F 17/40

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区丸の内二丁目 2 番 3 号 三菱電機株式会社  
社内

【氏名】 西本 元

【特許出願人】

【識別番号】 000006013

【氏名又は名称】 三菱電機株式会社

【代理人】

【識別番号】 100064746

【弁理士】

【氏名又は名称】 深見 久郎

【選任した代理人】

【識別番号】 100085132

【弁理士】

【氏名又は名称】 森田 俊雄

【選任した代理人】

【識別番号】 100091409

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊藤 英彦

【選任した代理人】

【識別番号】 100096781

【弁理士】

【氏名又は名称】 堀井 豊

【選任した代理人】

【識別番号】 100096792

【弁理士】

【氏名又は名称】 森下 八郎

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 008693

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 通信販売装置、通信販売方法、通信販売において商品を発注するためのプログラム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 通信販売に用いられる通信販売装置であって、

前記通信販売装置は、ユーザ端末および通信販売業者の端末と通信するための通信手段を含み、前記ユーザ端末は、ユーザ端末自身を特定するための、書換え不可能な識別情報を記憶し、前記ユーザ端末は、購入を要求する商品を表わす商品情報がユーザにより入力されると、前記識別情報を読み出して、前記商品情報と前記識別情報とを前記通信販売装置に送信し、

前記通信販売装置はさらに、前記識別情報と、前記識別情報に対応させた、ユーザの氏名を表わすデータおよび前記ユーザにより指定された配達先を表わすデータとを予め記憶するための記憶手段と、

前記通信手段に接続され、前記ユーザ端末から、前記商品情報と前記識別情報とを受信するための受信手段と、

前記受信手段と前記記憶手段とに接続され、前記受信した識別情報に対応付けて記憶された前記データを検索するための検索手段と、

前記検索手段とに接続され、前記検索されたデータに基づいて、前記ユーザの氏名および配達先を特定するためのユーザ情報を作成するための作成手段と、

前記通信手段と前記作成手段とに接続され、前記商品情報と、前記作成されたユーザ情報とを、前記通信販売業者の端末に送信するための送信手段とを含む、通信販売装置。

【請求項 2】 前記通信販売装置はさらに、商品をユーザに配達する運送業者の端末と通信するための運送業者通信手段を含み、

前記ユーザ情報は、前記検索されたユーザの氏名および配達先を特定するための情報であって、前記ユーザの氏名および配達先が前記通信販売業者および前記運送業者に認知不可能に表現された情報であって、

前記通信販売業者の端末は、前記商品情報と前記ユーザ情報とを前記運送業者の端末に送信し、前記運送業者の端末は、前記検索されたユーザの氏名および配

達先を問合せるために、前記ユーザ情報を含むユーザ問合せ情報を前記通信販売装置に送信し、

前記通信販売装置はさらに、

前記通信手段に接続され、前記ユーザ問合せ情報を受信したことに応答して、前記ユーザ情報により特定されるユーザの氏名を表わすデータおよび配達先を表わすデータを、前記運送業者の端末に送信するためのユーザ情報送信手段を含む、請求項 1 に記載の通信販売装置。

【請求項 3】 前記通信販売装置はさらに、

前記ユーザ端末との間の通信料金を計算するための計算手段と、

前記商品に対応付けて、商品の代金を表わすデータを記憶するための代金記憶手段と、

前記計算手段と前記代金記憶手段とに接続され、前記通信料金に、前記ユーザが購入を希望する商品の代金を加算して、前記ユーザへの請求金額を算出するための算出手段とを含む、請求項 1 または 2 に記載の通信販売装置。

【請求項 4】 前記通信販売装置はさらに、

前記通信手段に接続され、前記通信販売業者の端末から受注確認情報を受信するための確認受信手段と、

前記通信手段に接続され、前記受注確認情報を前記ユーザ端末に送信するための確認送信手段とを含む、請求項 1 または 2 に記載の通信販売装置。

【請求項 5】 前記通信販売装置はさらに、

前記通信手段に接続され、前記運送業者の端末から、配達予定情報を受信するための予定受信手段と、

前記通信手段に接続され、前記配達予定情報を前記ユーザ端末へ送信するための予定送信手段とを含む、請求項 2 に記載の通信販売装置。

【請求項 6】 ユーザ端末および通信販売業者の端末と通信する通信販売装置における通信販売方法であって、

前記ユーザ端末は、ユーザ端末自身を特定するための、書換え不可能な識別情報を記憶し、前記ユーザ端末は、購入を要求する商品を表わす商品情報がユーザにより入力されると、前記識別情報を読み出して、前記商品情報と前記識別情報と

を前記通信販売装置に送信し、

前記通信販売方法は、前記識別情報と、前記識別情報に対応させた、ユーザの氏名を表わすデータおよび前記ユーザにより指定された配達先を表わすデータとを予め準備する準備ステップと、

前記ユーザ端末から、前記商品情報と前記識別情報とを受信する受信ステップと、

前記受信した識別情報に対応付けて記憶された前記データを検索する検索ステップと、

前記検索されたデータに基づいて、前記ユーザの氏名および配達先を特定するためのユーザ情報を作成する作成ステップと、

前記商品情報と、前記作成されたユーザ情報とを、前記通信販売業者の端末に送信する送信ステップとを含む、通信販売方法。

【請求項 7】 前記通信販売装置はさらに、商品をユーザに配達する運送業者の端末と通信し、

前記ユーザ情報は、前記検索されたユーザの氏名および配達先を特定するための情報であって、前記ユーザの氏名および配達先が前記通信販売業者および前記運送業者に認知不可能に表現された情報であって、

前記通信販売業者の端末は、前記商品情報と前記ユーザ情報とを前記運送業者の端末に送信し、前記運送業者の端末は、前記検索されたユーザの氏名および配達先を問合せのために、前記ユーザ情報を含むユーザ問合せ情報を前記通信販売装置に送信し、

前記通信販売方法はさらに、

前記ユーザ問合せ情報を受信したことに応答して、前記ユーザ情報により特定されるユーザの氏名を表わすデータおよび配達先を表わすデータを、前記運送業者の端末に送信するユーザ情報送信ステップを含む、請求項 6 に記載の通信販売方法。

【請求項 8】 前記通信販売方法はさらに、

前記ユーザ端末との間の通信料金を計算する計算ステップと、

前記商品に対応付けて、商品の代金を表わすデータを準備する代金準備ステッ

プと、

前記通信料金に、前記ユーザが購入を希望する商品の代金を加算して、前記ユーザへの請求金額を算出する算出ステップとを含む、請求項 6 または 7 に記載の通信販売方法。

【請求項 9】 前記通信販売方法はさらに、

前記通信販売業者の端末から受注確認情報を受信する確認受信ステップと、

前記受注確認情報を前記ユーザ端末に送信する確認送信ステップとを含む、請求項 6 または 7 に記載の通信販売方法。

【請求項 10】 前記通信販売方法はさらに、

前記運送業者の端末から、配達予定情報を受信する予定受信ステップと、

前記配達予定情報を前記ユーザ端末へ送信する予定送信ステップとを含む、請求項 7 に記載の通信販売方法。

【請求項 11】 ユーザ端末および通信販売業者の端末と通信する通信販売コンピュータにおいて商品を発注するためのプログラムであって、

前記ユーザ端末は、ユーザ端末自身を特定するための、書換え不可能な識別情報を記憶し、前記ユーザ端末は、購入を要求する商品を表わす商品情報がユーザにより入力されると、前記識別情報を読出して、前記商品情報と前記識別情報とを前記通信販売コンピュータに送信し、

前記プログラムは、前記コンピュータに、

前記識別情報と、前記識別情報に対応させた、ユーザの氏名を表わすデータおよび前記ユーザにより指定された配達先を表わすデータとを予め準備する準備手順と、

前記ユーザ端末から、前記商品情報と前記識別情報とを受信する受信手順と、

前記受信した識別情報に対応付けて記憶された前記データを検索する検索手順と、

前記検索されたデータに基づいて、前記ユーザの氏名および配達先を特定するためのユーザ情報を作成する作成手順と、

前記商品情報と、前記作成されたユーザ情報とを、前記通信販売業者の端末に送信する送信手順とを実行させる、プログラム。



【請求項 1 2】 前記通信販売コンピュータはさらに、商品をユーザに配達する運送業者の端末と通信し、

前記ユーザ情報は、前記検索されたユーザの氏名および配達先を特定するための情報であって、前記ユーザの氏名および配達先が前記通信販売業者および前記運送業者に認知不可能に表現された情報であって、

前記通信販売業者の端末は、前記商品情報と前記ユーザ情報とを前記運送業者の端末に送信し、前記運送業者の端末は、前記検索されたユーザの氏名および配達先を問合せのために、前記ユーザ情報を含むユーザ問合せ情報を前記通信販売コンピュータに送信し、

前記プログラムはさらに、前記コンピュータに、

前記ユーザ問合せ情報を受信したことに応答して、前記ユーザ情報により特定されるユーザの氏名を表わすデータおよび配達先を表わすデータを、前記運送業者の端末に送信するユーザ情報送信手順を実行させるプログラムを含む、請求項 1 1 に記載のプログラム。

【請求項 1 3】 前記プログラムはさらに、前記コンピュータに、

前記ユーザ端末との間の通信料金を計算する計算手順と、

前記商品に対応付けて、商品の代金を表わすデータを準備する代金準備手順と

前記通信料金に、前記ユーザが購入を希望する商品の代金を加算して、前記ユーザへの請求金額を算出する算出手順とを実行させるプログラムを含む、請求項 1 1 または 1 2 に記載のプログラム。

【請求項 1 4】 前記プログラムはさらに、前記コンピュータに、

前記通信販売業者の端末から受注確認情報を受信する確認受信手順と、

前記受注確認情報を前記ユーザ端末に送信する確認送信手順とを含む、請求項 1 1 または 1 2 に記載のプログラム。

【請求項 1 5】 前記プログラムはさらに、前記コンピュータに、

前記運送業者の端末から、配達予定情報を受信する予定受信手順と、

前記配達予定情報を前記ユーザ端末へ送信する予定送信手順とを実行させるプログラムを含む、請求項 1 2 に記載のプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、通信販売システムに関し、特に、ユーザが容易に商品を発注できるシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】

顧客が、通信回線を介して通信販売業者に、購入を希望する商品の情報を送信すると、その商品が配達される通信販売は、一般的に、以下のようにして行われる。顧客は、販売店を訪れることなく、予め配布されたカタログに基づいて購入する商品を決定する。顧客は、通信回線を用いて、購入することを決定した商品を発注する。通信販売業者は、顧客に商品を配達する。顧客は、商品の到着前または到着後に、通信販売業者により指定される銀行口座に代金を振込む。このような通信販売において、ユーザによる商品の発注を、簡単かつ確実にこなう通信販売用装置が、特開 2 0 0 0 - 3 5 7 1 8 9 号公報に開示されている。

【0003】

この公報に開示された通信販売用装置は、通信回線を介して通信販売業者へ商品を発注するための装置である。この装置は、カタログに掲載された商品発注情報を示すバーコードを読み取るためのバーコード読み取り手段と、ユーザ情報を記録するためのユーザ情報記録手段と、通信回線に接続され、通信販売業者に、商品発注情報とユーザ情報とを送信するための情報伝送手段とを含む。

【0004】

この装置によると、情報伝送手段は、バーコード読み取り手段により読み取られた商品情報と、ユーザ情報記録手段に予め記録されているユーザ情報とを通信販売業者へ送信する。これにより、バーコードの読み取りにより商品情報を入力するため、購入を希望する商品の選択が容易になる。予めユーザ情報記録手段にユーザ情報が記録されているため、発注する度にこれらを入力する必要がない。その結果、通信販売の発注操作を極めて簡単に行うことができる。

【0005】

## 【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、前述の公報に開示された装置では、ユーザ情報の中の配達先を他人の情報に書換えられて、発注されると、商品は他人に配送され、代金は本来のユーザが支払うことになる。また、ユーザ情報に含まれるユーザの氏名、住所などのデータは、プライバシー保護の観点から必要のない者に安易に転送されるべきではない。

## 【0006】

本発明は、上述の課題を解決するためになされたものであって、他人に悪用されることなく、プライバシーの保護を図り、通信販売における商品を容易に発注できる、通信販売装置、通信販売方法、通信販売において商品を発注するためのプログラムを提供することである。

## 【0007】

## 【課題を解決するための手段】

第1の発明にかかる通信販売装置は、ユーザ端末および通信販売業者の端末と通信するための通信手段を含む。ユーザ端末は、ユーザ端末自身を特定するための、書換え不可能な識別情報を記憶する。ユーザ端末は、購入を要求する商品を表わす商品情報がユーザにより入力されると、識別情報を読み出して、商品情報と識別情報とを通信販売装置に送信する。通信販売装置はさらに、識別情報と、識別情報に対応させた、ユーザの氏名を表わすデータおよびユーザにより指定された配達先を表わすデータとを予め記憶するための記憶手段と、通信手段に接続され、ユーザ端末から、商品情報と識別情報とを受信するための受信手段と、受信手段と記憶手段とに接続され、受信した識別情報に対応付けて記憶されたデータを検索するための検索手段と、検索手段とに接続され、検索されたデータに基づいて、ユーザの氏名および配達先を特定するためのユーザ情報を作成するための作成手段と、通信手段と作成手段とに接続され、商品情報と、作成されたユーザ情報とを、通信販売業者の端末に送信するための送信手段とを含む。ここで、書換え不可能な識別情報とは、ユーザ端末の製造中に、ユーザ端末の製造者が特別な装置を用いて、電子的に書込んだ情報である。ユーザ端末の製造が完了した後においては、製造者にとって、上述の書換え不可能な識別情報は、書換えが極め

て困難な情報である。特別な装置を有しない製造者以外の者にとって、上述の書換え不可能な識別情報は、書換えが不可能な情報である。上述の書換え不可能な情報は、製造者にとって書換えが極めて困難な情報、および製造者以外にとって書換えが不可能な情報の双方を含む。

#### 【0008】

第1の発明によると、ユーザ端末は、ユーザ端末自身を特定するための、書換え不可能な識別情報、たとえばユーザ端末のハードウェア自身を特定する、書換え不可能なE S N (Electronic Serial Number) と、商品情報とを通信販売装置に送信する。受信手段がユーザ端末から商品情報と識別情報とを受信すると、検索手段は受信した識別情報に対応付けて記憶されたユーザの氏名および配達先を検索する。作成手段は、ユーザの氏名および配達先を特定するためのユーザ情報を作成し、送信手段は、商品情報と作成されたユーザ情報とを、通信販売業者の端末に送信する。これにより、ユーザーは携帯電話などのユーザ端末に商品情報を入力すると、入力された商品情報とユーザ端末に記憶されたE S Nとが通信販売装置に送信される。通信販売装置は、E S Nに対応付けて予め記憶されたユーザの氏名および配達先を検索して、ユーザ情報を作成して、通信販売業者の端末に送信する。通信販売業者は、送信された商品情報とユーザ情報とに基づいて、ユーザが購入を要求した商品を配達先に配達する処理を行なう。その結果、ユーザは氏名および配達先またはユーザコードなどのユーザを識別するためのデータを入力する必要がないため、通信販売における商品を容易に発注できる、通信販売装置を提供することができる。書換え不可能なE S Nに基づいて予め記憶されたデータに基づいてユーザ情報を作成するため、他人に悪用されることがない、通信販売装置を提供することができる。

#### 【0009】

第2の発明に係る通信販売装置は、第1の発明の構成に加えて、商品をユーザに配達する運送業者の端末と通信するための運送業者通信手段をさらに含む。ユーザ情報は、検索されたユーザの氏名および配達先を特定するための情報であって、ユーザの氏名および配達先が通信販売業者および運送業者に認知不可能に表現された情報である。通信販売業者の端末は、商品情報とユーザ情報とを運送業

者の端末に送信する。運送業者の端末は、検索されたユーザの氏名および配達先を問合せのために、ユーザ情報を含むユーザ問合せ情報を通信販売装置に送信する。通信販売装置は、通信手段に接続され、ユーザ問合せ情報を受信したことに応答して、ユーザ情報により特定されるユーザの氏名を表わすデータおよび配達先を表わすデータを、運送業者の端末に送信するためのユーザ情報送信手段をさらに含む。

## 【0010】

第2の発明によると、作成手段は、検索されたユーザの氏名および配達先を特定するための情報であって、ユーザの氏名および配達先が通信販売業者および運送業者に認知不可能に表現されたユーザ情報、たとえばユーザコードを作成する。通信販売装置は、作成されたユーザコードを、運送業者の端末に送信する。運送業者の端末は、ユーザコードによりユーザの配達先および氏名を認知できないため、ユーザコードを通信販売装置に送信する。ユーザ情報送信手段は、ユーザコードにより特定されるユーザの配達先および氏名を、運送業者の端末に送信する。これにより、通信販売業者に、ユーザの配達先および氏名を認知させることなく、運送業者による商品の配達を行なうことができる。その結果、プライバシーの保護を図り、通信販売における商品を容易に発注できる、通信販売装置を提供することができる。

## 【0011】

第3の発明に係る通信販売装置は、第1または第2の発明の構成に加えて、ユーザ端末との間の通信料金を計算するための計算手段と、商品に対応付けて、商品の代金を表わすデータを記憶するための代金記憶手段と、計算手段と代金記憶手段とに接続され、通信料金に、ユーザが購入を希望する商品の代金を加算して、ユーザへの請求金額を算出するための算出手段とをさらに含む。

## 【0012】

第3の発明によると、算出手段は、計算手段により計算された通信料金と、代金記憶手段に記憶された代金とに基づいて、通信料金に商品の代金を加算したユーザへの請求金額を算出する。これにより、通信料金とともに商品の代金を収受するための請求金額を算出できる。

【 0 0 1 3 】

第 4 の発明に係る通信販売装置は、第 1 または第 2 の発明の構成に加えて、通信手段に接続され、通信販売業者の端末から受注確認情報を受信するための確認受信手段と、通信手段に接続され、受注確認情報をユーザ端末に送信するための確認送信手段とをさらに含む。

【 0 0 1 4 】

第 4 の発明によると、通信販売業者の端末から送信された受注確認情報がユーザ端末に送信され、ユーザは、通信販売業者により受注されたことを確認できる。

【 0 0 1 5 】

第 5 の発明に係る通信販売装置は、第 2 の発明の構成に加えて、通信手段に接続され、運送業者の端末から、配達予定情報を受信するための予定受信手段と、通信手段に接続され、配達予定情報をユーザ端末へ送信するための予定送信手段とをさらに含む。

【 0 0 1 6 】

第 5 の発明によると、運送会社の端末から送信された配達予定情報がユーザ端末に送信され、ユーザは、運送会社による商品の配達日時などを知ることができる。

【 0 0 1 7 】

第 6 の発明に係る通信販売方法は、ユーザ端末および通信販売業者の端末と通信する通信販売装置における通信販売方法である。ユーザ端末は、ユーザ端末自身を特定するための、書換え不可能な識別情報を記憶する。ユーザ端末は、購入を要求する商品を表わす商品情報がユーザにより入力されると、識別情報を読み出して、商品情報と識別情報とを通信販売装置に送信する。通信販売方法は、識別情報と、識別情報に対応させた、ユーザの氏名を表わすデータおよびユーザにより指定された配達先を表わすデータとを予め準備する準備ステップと、ユーザ端末から、商品情報と識別情報とを受信する受信ステップと、受信した識別情報に対応付けて記憶されたデータを検索する検索ステップと、検索されたデータに基づいて、ユーザの氏名および配達先を特定するためのユーザ情報を作成する作成

ステップと、商品情報と、作成されたユーザ情報とを、通信販売業者の端末に送信する送信ステップとを含む。

【 0 0 1 8 】

第6の発明によると、受信ステップにてユーザ端末から商品情報と識別情報とを受信すると、検索ステップにて、受信した識別情報に対応付けて記憶されたユーザの氏名および配達先が検索される。作成ステップにて、ユーザの氏名および配達先を特定するためのユーザ情報が作成され、送信ステップにて、商品情報と作成されたユーザ情報とが、通信販売業者の端末に送信される。これにより、ユーザは携帯電話などのユーザ端末に商品情報を入力すると、入力された商品情報とユーザ端末に記憶されたE S Nとが通信販売装置に送信される。通信販売装置は、E S Nに対応付けて予め記憶されたユーザの氏名および配達先を検索して、ユーザ情報を作成して、通信販売業者の端末に送信する。通信販売業者は、送信された商品情報とユーザ情報とに基づいて、ユーザが購入を要求した商品を配達先に配達する処理を行なう。その結果、ユーザは氏名および配達先またはユーザコードなどのユーザを識別するためのデータを入力する必要がないため、通信販売における商品を容易に発注できる、通信販売方法を提供することができる。書換え不可能なE S Nに基づいて予め記憶されたデータに基づいてユーザ情報を作成するため、他人に悪用されることがない、通信販売方法を提供することができる。

【 0 0 1 9 】

第7の発明に係る通信販売方法において、第6の発明の構成に加えて、通信販売装置は、商品をユーザに配達する運送業者の端末と通信する。ユーザ情報は、検索されたユーザの氏名および配達先を特定するための情報であって、ユーザの氏名および配達先が通信販売業者および運送業者に認知不可能に表現された情報である。通信販売業者の端末は、商品情報とユーザ情報とを運送業者の端末に送信する。運送業者の端末は、検索されたユーザの氏名および配達先を問合せのために、ユーザ情報を含むユーザ問合せ情報を通信販売装置に送信する。通信販売方法は、ユーザ問合せ情報を受信したことに応答して、ユーザ情報により特定されるユーザの氏名を表わすデータおよび配達先を表わすデータを、運送業者の端

末に送信するユーザ情報送信ステップをさらに含む。

【0020】

第7の発明によると、作成ステップにて、検索されたユーザの氏名および配達先を特定するための情報であって、ユーザの氏名および配達先が通信販売業者および運送業者に認知不可能に表現されたユーザ情報、たとえばユーザコードが作成される。送信ステップにて、作成されたユーザコードが、運送業者の端末に送信される。運送業者の端末は、ユーザコードによりユーザの配達先および氏名を認知できないため、ユーザコードを通信販売装置に送信する。ユーザ情報送信ステップにて、ユーザコードにより特定されるユーザの配達先および氏名が、運送業者の端末に送信される。これにより、通信販売業者に、ユーザの配達先および氏名を認知させることなく、運送業者による商品の配達を行なうことができる。その結果、プライバシーの保護を図り、通信販売における商品を容易に発注できる、通信販売方法を提供することができる。

【0021】

第8の発明に係る通信販売方法は、第6または第7の発明の構成に加えて、ユーザ端末との間の通信料金を計算する計算ステップと、商品に対応付けて、商品の代金を表わすデータを準備する代金準備ステップと、通信料金に、ユーザが購入を希望する商品の代金を加算して、ユーザへの請求金額を算出する算出ステップとをさらに含む。

【0022】

第8の発明によると、算出ステップにて、計算ステップにて計算された通信料金と、代金記憶ステップにて記憶された代金とに基づいて、通信料金に商品の代金を加算したユーザへの請求金額が算出される。これにより、通信料金とともに商品の代金を収受するための請求金額を算出できる。

【0023】

第9の発明に係る通信販売方法は、第6または第7の発明の構成に加えて、通信販売業者の端末から受注確認情報を受信する確認受信ステップと、受注確認情報をユーザ端末に送信する確認送信ステップとをさらに含む。

【0024】



第 9 の発明によると、通信販売業者の端末から送信された受注確認情報がユーザ端末に送信され、ユーザは、通信販売業者により受注されたことを確認できる。

【 0 0 2 5 】

第 1 0 の発明に係る通信販売方法は、第 7 の発明の構成に加えて、運送業者の端末から、配達予定情報を受信する予定受信ステップと、配達予定情報をユーザ端末へ送信する予定送信ステップとをさらに含む。

【 0 0 2 6 】

第 1 0 の発明によると、運送会社の端末から送信された配達予定情報がユーザ端末に送信され、ユーザは、運送会社による商品の配達日時などを知ることができる。

【 0 0 2 7 】

第 1 1 の発明に係るプログラムは、ユーザ端末および通信販売業者の端末と通信する通信販売コンピュータにおいて商品を発注するためのプログラムである。ユーザ端末は、ユーザ端末自身を特定するための、書換え不可能な識別情報を記憶する。ユーザ端末は、購入を要求する商品を表わす商品情報がユーザにより入力されると、識別情報を読み出して、商品情報と識別情報とを通信販売コンピュータに送信する。プログラムは、コンピュータに、識別情報と、識別情報に対応させた、ユーザの氏名を表わすデータおよびユーザにより指定された配達先を表わすデータとを予め準備する準備手順と、ユーザ端末から、商品情報と識別情報とを受信する受信手順と、受信した識別情報に対応付けて記憶されたデータを検索する検索手順と、検索されたデータに基づいて、ユーザの氏名および配達先を特定するためのユーザ情報を作成する作成手順と、商品情報と、作成されたユーザ情報とを、通信販売業者の端末に送信する送信手順とを実行させる。

【 0 0 2 8 】

第 1 1 の発明によると、プログラムがコンピュータに実行させる受信手順にて、ユーザ端末から商品情報と識別情報とを受信すると、検索手順にて、受信した識別情報に対応付けて記憶されたユーザの氏名および配達先が検索される。プログラムがコンピュータに実行させる作成手順にて、ユーザの氏名および配達先を

特定するためのユーザ情報が作成され、送信手順にて、商品情報と作成されたユーザ情報とが、通信販売業者の端末に送信される。これにより、ユーザーは携帯電話などのユーザ端末に商品情報を入力すると、入力された商品情報とユーザ端末に記憶された E S N とが通信販売装置に送信される。通信販売装置は、E S N に対応付けて予め記憶されたユーザの氏名および配達先を検索して、ユーザ情報を作成して、通信販売業者の端末に送信する。通信販売業者は、送信された商品情報とユーザ情報とに基づいて、ユーザが購入を要求した商品を配達先に配達する処理を行なう。その結果、ユーザは氏名および配達先またはユーザコードなどのユーザを識別するためのデータを入力する必要があるため、通信販売において商品を容易に発注するためのプログラムを提供することができる。書換え不可能な E S N に基づいて予め記憶されたデータに基づいてユーザ情報を作成するため、他人に悪用されることがない、通信販売において商品を発注するためのプログラムを提供することができる。

## 【 0 0 2 9 】

第 1 2 の発明に係るプログラムにおいて、通信販売コンピュータは、商品をユーザに配達する運送業者の端末とさらに通信する。ユーザ情報は、検索されたユーザの氏名および配達先を特定するための情報であって、ユーザの氏名および配達先が通信販売業者および運送業者に認知不可能に表現された情報である。通信販売業者の端末は、商品情報とユーザ情報とを運送業者の端末に送信する。運送業者の端末は、検索されたユーザの氏名および配達先を問合せのために、ユーザ情報を含むユーザ問合せ情報を通信販売コンピュータに送信する。プログラムは、第 1 1 のプログラムに加えて、コンピュータに、ユーザ問合せ情報を受信したことに応答して、ユーザ情報により特定されるユーザの氏名を表わすデータおよび配達先を表わすデータを、運送業者の端末に送信するユーザ情報送信手順を実行させるプログラムをさらに含む。

## 【 0 0 3 0 】

第 1 2 の発明によると、プログラムがコンピュータに実行させる作成手順にて、検索されたユーザの氏名および配達先を特定するための情報であって、ユーザの氏名および配達先が通信販売業者および運送業者に認知不可能に表現されたユ

ユーザ情報、たとえばユーザコードが作成される。プログラムがコンピュータに実行させる送信手順にて、作成されたユーザコードが、運送業者の端末に送信される。運送業者の端末は、ユーザコードによりユーザの配達先および氏名を認知できないため、ユーザコードを通信販売装置に送信する。プログラムがコンピュータに実行させるユーザ情報送信手順にて、ユーザコードにより特定されるユーザの配達先および氏名が、運送業者の端末に送信される。これにより、通信販売業者に、ユーザの配達先および氏名を認知させることなく、運送業者による商品の配達を行なうことができる。その結果、プライバシーの保護を図り、通信販売において商品を容易に発注するためのプログラムを提供することができる。

## 【 0 0 3 1 】

第 1 3 の発明に係るプログラムは、第 1 1 または第 1 2 のプログラムに加えて、コンピュータに、ユーザ端末との間の通信料金を計算する計算手順と、商品に対応付けて、商品の代金を表わすデータを準備する代金準備手順と、通信料金に、ユーザが購入を希望する商品の代金を加算して、ユーザへの請求金額を算出する算出手順とを実行させるプログラムをさらに含む。

## 【 0 0 3 2 】

第 1 3 の発明によると、プログラムがコンピュータに実行させる算出手順にて、計算手順にて計算された通信料金と、代金記憶手順にて記憶された代金とに基づいて、通信料金に商品の代金を加算したユーザへの請求金額が算出される。これにより、通信料金とともに商品の代金を収受するための請求金額を算出できる。

## 【 0 0 3 3 】

第 1 4 の発明に係るプログラムは、第 1 1 または第 1 2 のプログラムに加えて、コンピュータに、通信販売業者の端末から受注確認情報を受信する確認受信手順と、受注確認情報をユーザ端末に送信する確認送信手順とを実行させるプログラムをさらに含む。

## 【 0 0 3 4 】

第 1 4 の発明によると、通信販売業者の端末から送信された受注確認情報がユーザ端末に送信され、ユーザは、通信販売業者により受注されたことを確認でき

る。

【0035】

第15の発明に係るプログラムは、第12のプログラムに加えて、コンピュータに、運送業者の端末から、配達予定情報を受信する予定受信手順と、配達予定情報をユーザ端末へ送信する予定送信手順とを実行させるプログラムをさらに含む。

【0036】

第15の発明によると、運送会社の端末から送信された配達予定情報がユーザ端末に送信され、ユーザは、運送会社による商品の配達日時などを知ることができる。

【0037】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照しつつ、本発明の実施の形態について説明する。以下の説明では、同一の要素には同一の符号を付してある。それらの名称および機能も同じである。したがってそれらについての詳細な説明は繰返さない。

【0038】

<第1の実施の形態>

図1を参照して、本実施の形態に係る通信販売システムは、通信販売を利用するユーザの携帯電話200と、通信販売業者のコンピュータ300と、ユーザに商品を配達する運送業者のコンピュータ400と、携帯電話の基地局500と、通信販売業者のコンピュータ300および運送業者のコンピュータ400にネットワーク600を介して接続されたサーバ100とを含む。サーバ100は、携帯電話の基地局500にネットワーク602を介して接続される。

【0039】

ユーザは、携帯電話の通信会社と予め回線使用契約を締結した自分の携帯電話200に、ユーザが購入を希望する商品情報（商品コードおよび数量）を入力する。携帯電話200は、携帯電話のハードウェア自身を特定するための識別情報を記憶している。携帯電話200は、基地局500を介して、サーバ100に商品情報と識別情報とを送信する。サーバ100は、受信した識別情報に基づいて

、予め記憶されたユーザデータベースから、その携帯電話200のユーザの氏名および住所を検索する。この氏名および住所は、携帯電話の通信会社に回線使用契約を締結する際に、通信会社に提示したものである。サーバ100は、検索された住所を配達先とし、氏名を受取人とするユーザ情報（ユーザの氏名および配達先）を作成する。サーバ100は、商品情報とユーザ情報とを通信販売業者のコンピュータ300に送信する。このように、サーバ100は、ユーザの携帯電話200から受信した情報に基づいてユーザ情報を作成して、商品情報とユーザ情報とを通信販売業者に送信するという、通信販売における商品発注機能を実現する。

## 【0040】

本実施の形態に係る通信販売システムにおけるサーバ100における商品発注機能は、コンピュータにおいて、CPU (Central Processing Unit) により所定のプログラムを実行することにより実現される。

## 【0041】

図2に、商品発注機能を実現するサーバ100の一例であるコンピュータシステムの外観を示す。図2を参照してこのコンピュータシステムは、FD (Flexible Disk) 駆動装置106およびCD-ROM (Compact Disc-Read Only Memory) 駆動装置108を備えたコンピュータ102と、モニタ104と、キーボード110と、マウス112とを含む。

## 【0042】

図3に、このコンピュータシステムの構成をブロック図形式で示す。図3に示すように、コンピュータ102は、上記したFD駆動装置106およびCD-ROM駆動装置108に加えて、相互にバスで接続されたCPU (Central Processing Unit) 120と、メモリ122と、固定ディスク124と、他のコンピュータと通信するための通信インターフェイス128とを含む。FD駆動装置106にはFD116が装着される。CD-ROM駆動装置108にはCD-ROM118が装着される。これらのFD116およびCD-ROM118には、ソフトウェアに対応した所定のプログラムが格納されている。

## 【0043】

既に述べたように、商品発注機能を有するサーバ100は、コンピュータハードウェアとCPU120により実行されるソフトウェアとにより実現される。一般的にこうしたソフトウェアは、FD116、CD-ROM118などの記録媒体にプログラムとして格納されて流通し、FD駆動装置106またはCD-ROM駆動装置108などにより記録媒体から読取られて固定ディスク124に一旦格納される。さらに固定ディスク124からメモリ122に読出されて、CPU120により実行される。

#### 【0044】

これらのコンピュータのハードウェア自体は一般的なものである。コンピュータは、CPUを含む制御回路、記憶回路、入力回路、出力回路およびOS (Operating System) を含み、プログラムを実行する環境を備えたものである。本発明のプログラムは、このようなコンピュータに、通信販売における商品発注機能を実現するプログラムである。したがって本発明の最も本質的な部分は、FD、CD-ROM、メモリカード、固定ディスクなどの記録媒体に記録されたプログラムである。

#### 【0045】

なお、図2および図3に示したコンピュータ自体の動作は周知であるので、ここではその詳細な説明は繰返さない。

#### 【0046】

図4を参照して、ユーザの携帯電話200は、この携帯電話200の全体を制御する制御部220と、他の電話装置およびコンピュータと通信するための通信部230と、制御部220において実行されるプログラム、そのプログラムが実行されたときの中間データおよび通信部230を介して受信した電子メールを記憶する記憶部240と、入出力部250とを含む。

#### 【0047】

入出力部250は、テンキーなどを含む操作部252と、操作部252に入力された電話番号を表示したり、受信した電子メールを表示したりするLCD (Liquid Crystal Display) を含む表示部254と、音声を入力するマイクにより構成される音声入力部256と、音声を出力するスピーカにより構成される音声出

力部 2 5 8 とを含む。操作部 2 5 2 には、この携帯電話 2 0 0 のユーザにより、他の電話装置の電話番号が入力されたり、受信した電子メールを表示する要求が入力されたり、電子メールが作成されたり、作成された電子メールを送信する要求が入力されたりする。

【 0 0 4 8 】

この携帯電話 2 0 0 は、記憶部 2 4 0 に、携帯電話 2 0 0 のハードウェア自体を他のハードウェアから識別するための識別情報を記憶している。この識別情報は、携帯電話 2 0 0 の製造時に記憶部 2 4 0 に記憶された、書換え不可能なデータである。

【 0 0 4 9 】

携帯電話 2 0 0 のユーザは、予め携帯電話の通信会社と回線使用契約を締結する。このとき、ユーザは、自己の氏名および住所を含む個人情報を携帯電話の通信会社に提示する。携帯電話の通信会社は、回線使用契約の締結にあたり、個人情報に、携帯電話の識別情報と携帯電話の電話番号とを対応付ける。この回線使用契約の締結後、ユーザは携帯電話 2 0 0 を使用できる。ユーザは、携帯電話の回線使用に対して、基本使用料と、通話時間および通話相手との距離に基づいて算出される通話料金とを、携帯電話の通信会社に支払う。

【 0 0 5 0 】

サーバ 1 0 0 は、ユーザが回線使用契約を締結した携帯電話の通信会社により運営される。サーバ 1 0 0 は、後述するように、識別情報に対応付けて個人情報の中のユーザの氏名および住所を通信販売用に記憶する。個人情報の中の住所が、通信販売において購入が要求された商品の配達先になる。

【 0 0 5 1 】

以下の説明では、ユーザ端末を携帯電話として説明するがこれに限定されるものではない。携帯電話ではなく固定電話であってもよい。

【 0 0 5 2 】

図 5 を参照して、本実施の形態に係るサーバ 1 0 0 の固定ディスク 1 2 4 に記憶されるユーザデータベースについて説明する。図 5 に示すように、ユーザデータベースは、携帯電話 2 0 0 の識別番号ごとに、ユーザ I D (Identification)

と、携帯電話番号と、氏名と、住所と、携帯電話 2 0 0 にデータを送信するためのメールアドレスとを含む。ユーザ ID は、この通信販売システムにおいて、通信販売を利用するユーザを一意に特定するための情報である。氏名および住所は、携帯電話の電話会社との回線使用契約時に、ユーザにより指定された氏名および住所である。識別番号は、携帯電話 2 0 0 のハードウェアを識別するための情報であって、書換えることができない情報である。

## 【 0 0 5 3 】

図 6 を参照して、サーバ 1 0 0 の固定ディスク 1 2 0 に記憶される課金データベースについて説明する。図 6 に示すように、課金データベースは、ユーザ ID ごとに、通信金額と、通信販売金額とを含む。通信金額は、通信回線の使用に対する基本使用料と、通話料とを含む。通信販売金額は、購入 ID ごとに、商品金額と送料とを含む。通信金額および通信販売金額は、それぞれ月度ごとに累計額が記憶される。

## 【 0 0 5 4 】

図 7 を参照して、携帯電話 2 0 0 からサーバ 1 0 0 へ送信される発注データについて説明する。図 7 に示すように、発注データは、ヘッダと、このデータが発注データであることを示す発注フラグと、識別番号と、携帯電話番号と、発注商品番号と、発注数量とを含む。この発注データは、ユーザにより携帯電話 2 0 0 に、発注商品番号と発注数量とが入力され送信要求が行なわれると、サーバ 1 0 0 に送信される。

## 【 0 0 5 5 】

図 8 を参照して、サーバ 1 0 0 から通信販売業者コンピュータ 3 0 0 へ送信される転送データについて説明する。図 8 に示すように、転送データは、ヘッダと、このデータが転送データであることを示す転送フラグと、転送フラグと、ユーザ ID と、発注商品番号と、発注数量と、住所と、氏名とを含む。この転送データは、サーバ 1 0 0 が、図 7 に示す発注データを受信すると、図 5 に示すユーザデータベースに基づいてユーザの住所および氏名を検索し、作成される。

## 【 0 0 5 6 】

図 9 を参照して、通信販売業者コンピュータ 3 0 0 からサーバ 1 0 0 へ、サー



サーバ100から携帯電話200へ送信される受注確認データについて説明する。図9に示すように、受注確認データは、ヘッダと、このデータが受注確認データであることを示す受注確認フラグと、ユーザIDと、発注商品番号と、発注数量とを含む。この受注確認データは、通信販売業者コンピュータ300が図8に示す転送データを受信したことに応答して、通信販売業者コンピュータ300からサーバ100へ、サーバ100から携帯電話200へ送信される。

【0057】

図10を参照して、携帯電話200からサーバ100へ、サーバ100から通信販売業者コンピュータ300へ送信される受注確認回答データについて説明する。図10に示すように、受注確認該当データは、ヘッダと、このデータが受注確認回答データであることを示す受注確認回答フラグと、ユーザIDと、受注確認回答情報とを含む。この受注確認回答データは、図9に示す受注確認データを受信した携帯電話200の表示部254に表示された内容に基づいて、ユーザにより入力された受注確認回答情報を送信するデータである。

【0058】

図11を参照して、通信販売業者コンピュータ300から運送業者コンピュータ400へ送信される配達依頼データについて説明する。図11に示すように、配達依頼データは、ヘッダと、このデータが配達依頼データであることを示す配達依頼フラグと、ユーザIDと、購入IDと、発注商品番号と、発注数量と、住所と、氏名とを含む。この配達依頼データは、図8に示す転送データを受信した通信販売業者コンピュータ300が、運送業者コンピュータ400に送信するデータである。

【0059】

図12を参照して、運送業者コンピュータ400からサーバ100へ、サーバ100から携帯電話200へ送信される配達確認データについて説明する。図12に示すように、配達確認データは、ヘッダと、このデータが配達確認データであることを示す配達確認フラグと、ユーザIDと、発注商品番号と、発注数量と、配達日時とを含む。この配達確認データは、運送業者が、ユーザに対して配達日時を通知するデータである。

## 【0060】

図13を参照して、携帯電話200からサーバ100へ、サーバ100から運送業者コンピュータ400へ送信される配達確認回答データについて説明する。図13に示すように、配達確認回答データは、ヘッダと、このデータが配達確認回答データであることを示す配達確認回答フラグと、ユーザIDと、配達確認回答情報とを含む。この配達確認回答データは、図12に示す配達確認データを受信した携帯電話200の表示部254に表示された配達日時に基づいて、ユーザにより入力された配達確認回答情報を送信するデータである。

## 【0061】

図14を参照して、通信販売業者コンピュータ300からサーバ100へ送信される課金要求データについて説明する。図14に示すように課金要求データは、ヘッダと、このデータが課金要求データであることを示す課金要求フラグと、ユーザIDと、購入IDと、商品金額と、送料とを含む。

## 【0062】

図15を参照して、サーバ100から携帯電話200へ送信される課金データについて説明する。図15に示すように、課金データは、ヘッダと、このデータが課金データであることを示す課金フラグと、ユーザIDと、請求金額と、月度累計通信金額と、月度累計通信販売金額とを含む。この課金データは、1ヵ月ごとに、サーバ100から携帯電話200に送信される。

## 【0063】

図16を参照して、本実施の形態に係るサーバ100で実行されるプログラムは、受注処理に関し、以下のような制御構造を有する。

## 【0064】

ステップ（以下、ステップをSと略す。）100にて、サーバ100のCPU120は、携帯電話200から図7に示す発注データを受信したか否かを判断する。携帯電話200から発注データを受信すると（S100にてYES）、処理はS102へ移される。一方、携帯電話200から発注データを受信しないと（S100にてNO）、処理はS100へ戻され、携帯電話200からの発注データの受信を待つ。

## 【0065】

S102にて、CPU120は、受信した発注データに含まれる識別番号に基づいて、図5に示すユーザデータベースからユーザIDを讀出す。S104にて、CPU120は、S102における讀出の結果、該当するユーザIDが、ユーザデータベースに登録されているか否かを判断する。該当ユーザIDがユーザデータベースに登録されている場合には（S104にてYES）、処理はS108へ移される。一方、該当するユーザIDがユーザデータベースに登録されていない場合には（S104にてNO）、処理はS106へ移される。

## 【0066】

S106にて、CPU120は、ユーザIDを付与する。このとき、この通信販売システムを利用するユーザを一意に特定できるように、新たなユーザIDが付与される。

## 【0067】

S108にて、CPU120は、識別番号に基づいて、図5に示すユーザデータベースから、ユーザの氏名および住所を讀出す。S110にて、CPU120は、S100にて讀出したユーザの氏名および住所を含む転送データを作成する。

## 【0068】

S112にて、CPU120は、S110にて作成された図8に示す転送データを、通信販売業者コンピュータ300に送信する。

## 【0069】

図17を参照して、サーバ100で実行されるプログラムは、受注確認処理に関し、以下のような制御構造を有する。

## 【0070】

S200にて、CPU120は、通信販売業者コンピュータ300から図9に示す受注確認データを受信したか否かを判断する。通信販売業者コンピュータ300から受注確認データを受信すると（S200にてYES）、処理はS202へ移される。一方、通信販売業者コンピュータ300から受注情報を受信しないと（S200にてNO）、処理はS200へ戻され、通信販売業者コンピュータ

300からの受注情報データの受信を待つ。

【0071】

S202にて、CPU120は、受注確認データに含まれるユーザIDに基づいて、図5に示すユーザデータベースからそのユーザのメールアドレスを読み出す。

【0072】

S204にて、CPU120は、S202にて読み出したメールアドレス宛てに、図9に示す受注確認データを送信する。

【0073】

S206にて、CPU120は、携帯電話200から図10に示す受注確認回答データを受信した否かを判断する。携帯電話200から受注確認回答データを受信すると（S206にてYES）、処理はS208へ移される。一方、携帯電話200から受注確認回答データを受信しないと（S206にてNO）、処理はS206へ戻され、携帯電話200からの受注確認回答データの受信を待つ。

【0074】

S208にて、CPU120は、図10に示す受注確認回答データを、通信販売業者コンピュータ300に送信する。

【0075】

図18を参照して、サーバ100で実行されるプログラムは、配達確認処理に関し、以下のような制御構造を有する。

【0076】

S300にて、CPU120は、運送業者コンピュータ400から図12に示す配達確認データを受信したか否かを判断する。運送業者コンピュータ400から配達確認データを受信すると（S300にてYES）、処理はS302へ移される。一方、運送業者コンピュータ400から配達確認データを受信しないと（S300にてNO）、処理はS300へ戻され、運送業者コンピュータ400からの配達確認データの受信を待つ。

【0077】

S302にて、CPU120は、配達確認データに含まれるユーザIDに基づ

いて、図5に示すユーザデータベースからそのユーザのメールアドレスを讀出す。S304にて、CPU120は、S302にて讀出したメールアドレス宛てに、図12に示す配達確認データを送信する。

## 【0078】

S306にて、CPU120は、携帯電話200から、図13に示す配達確認回答データを受信したか否かを判断する。携帯電話200から配達確認回答データを受信すると（S306にてYES）、処理はS308へ移される。一方、携帯電話200から配達確認回答データを受信しないと（S306にてNO）、処理はS306へ戻され、携帯電話200からの配達確認該当データの受信を待つ。

## 【0079】

S308にて、CPU120は、S306にて受信した配達確認回答データを、運送業者コンピュータ400に送信する。

## 【0080】

図19を参照して、サーバ100で実行されるプログラムは、課金計算処理に関し、以下のような制御構造を有する。

## 【0081】

S400にて、CPU120は、通信販売業者コンピュータ300から、図14に示す課金要求データを受信したか否かを判断する。通信販売業者コンピュータ300から課金要求データを受信すると（S400にてYES）、処理はS402へ移される。一方、通信販売業者コンピュータ300から課金要求データを受信しないと（S400にてNO）、処理はS400へ戻され、通信販売業者コンピュータ300からの課金要求データの受信を待つ。

## 【0082】

S402にて、CPU120は、図6に示す課金データベースに、ユーザIDおよび購入IDごとに、商品金額、送料の累計金額を記憶する。

## 【0083】

S404にて、CPU120は、現在日時が課金集計日時に到達したか否かを判断する。課金集計日時は、たとえば毎月の月末日に設定される。課金集計日時

に到達すると（S404にてYES）、処理はS406へ移される。一方、課金集計日時に到達するまでは（S404にてNO）、処理はS400へ戻され、通信販売業者コンピュータ300からの課金要求データを受信するたびに、図6に示す課金データベースを更新する。

【0084】

S406にて、CPU120は、ユーザIDごとに累計された、通信金額および通信販売金額を、図6に示す課金データベースから読出す。S408にて、CPU120は、ユーザIDごとに、請求金額を算出する。このとき、算出される請求金額は、通信金額の月度累計値と、通信販売金額の月度累計値を加算したものである。S410にて、CPU120は、ユーザIDに基づくメールアドレス宛に、図15に示す課金データを送信する。

【0085】

以上のような構成をフローチャートに基づく、通信販売システムの動作について説明する。

【0086】

【発注動作】

携帯電話200のユーザは、携帯電話200の回線使用契約を、携帯電話の通信会社との間で締結する。この回線使用契約の締結時に、ユーザは、自己の氏名および住所を提示する。携帯電話通信会社は、提示されたユーザの氏名および住所と携帯電話200の識別番号と電話番号とを対応付けて記憶する。この他にメールアドレスが記憶され、図5に示すユーザデータベースが作成される。

【0087】

携帯電話200のユーザが、通信販売用のカタログなどを見て、購入したい商品の商品番号を認知する。携帯電話200のユーザは、認知した商品番号と発注数量とを、携帯電話200の操作部252から入力する。携帯電話200のユーザは、操作部252からサーバ100へ発注データの送信を要求する。携帯電話200は、記憶部240に記憶された識別番号を読出し、識別番号と電話番号とを含む発注データ（図7）をサーバ100に送信する。携帯電話200から発注データ（図7）を受信すると（S100にてYES）、受信した発注データに含

まれる識別番号に基づいて、図5に示すユーザデータベースからユーザIDが読出される。該当ユーザが登録されていると（S104にてYES）、識別番号に基づいて、図5に示すユーザデータベースから発注データを送信してきたユーザの氏名および住所が読出される（S108）。読出されたユーザの氏名および住所に基づいて、転送データ（図8）が作成され（S110）、作成された転送データ（図8）が通信販売業者コンピュータ300に送信される（S112）。

【0088】

〔受注確認動作〕

サーバ100から転送データ（図8）を受信した通信販売業者コンピュータ300は、サーバ100に受注確認データ（図9）を送信する。サーバは、そのデータを受信すると（S200にてYES）、受信した受注確認データに含まれるユーザIDに基づいて、そのユーザのメールアドレスを読出す（S202）。読出されたメールアドレスに基づいて、受注確認データ（図9）が携帯電話200に送信される。

【0089】

受注確認データ（図9）を受信した携帯電話200のユーザは、携帯電話200の表示部254に表示された発注商品番号と発注数量とにより、自己が発注した内容を確認する。自己が発注した内容が正しければ、受注確認回答情報として、受注確認データの内容が正しい旨のデータを入力し、携帯電話200からサーバ100へ受注確認回答データ（図10）の送信を要求する。サーバ100は、携帯電話200からそのデータを受信すると（S206にてYES）、受信した受注確認回答データ（図10）を、通信販売業者コンピュータ300へ送信する。

【0090】

〔配達確認動作〕

サーバ100から転送データ（図8）を受信した通信販売業者コンピュータ300は、転送データに含まれる発注商品番号、発注数量、住所および氏名に基づいて、図11に示す配達依頼データを作成し、運送業者コンピュータ400へ送信する。サーバ100から配達依頼データ（図11）を受信した運送業者コンピ

ユーザ 4 0 0 は、サーバ 1 0 0 に配達確認データ（図 1 2）を送信する。サーバ 1 0 0 は、運送業者コンピュータ 4 0 0 からそのデータを受信すると（S 3 0 0 にて Y E S）、受信した配達確認データに含まれるユーザ ID に基づいて、そのユーザのメールアドレスを讀出す（S 3 0 2）。讀出されたメールアドレス宛に、配達確認データ（図 1 2）が携帯電話 2 0 0 に送信される。

## 【 0 0 9 1 】

配達確認データ（図 1 2）を受信した携帯電話 2 0 0 において、携帯電話 2 0 0 の表示部 2 5 4 に、配達日時が表示される。携帯電話 2 0 0 のユーザは、その表示により配達日時を認知し、配達確認回答情報として、その配達日時を了承した旨のデータを入力する。携帯電話 2 0 0 のユーザは、配達確認回答データ（図 1 3）を送信する要求を行なう。サーバ 1 0 0 は、携帯電話 2 0 0 からそのデータを受信すると（S 3 0 6 にて Y E S）、携帯電話 2 0 0 から受信した配達確認回答データを、運送業者コンピュータ 4 0 0 に送信する（S 3 0 8）。

## 【 0 0 9 2 】

## 〔課金計算動作〕

サーバ 1 0 0 は、通信販売業者コンピュータ 3 0 0 から課金要求データ（図 1 4）を受信するたびに（S 4 0 0 にて Y E S）、ユーザ ID および購入 ID ごとに、商品金額、送料の累計金額を記憶し、課金データベース（図 6）を更新する。

## 【 0 0 9 3 】

課金集計日時に到達すると（S 4 0 4 にて Y E S）、ユーザ ID ごとに累計された通信金額および通信販売金額が讀出され（S 4 0 6）、ユーザ ID ごとに、それらの金額を加算した請求金額が算出される（S 4 0 8）。ユーザ ID ごとに、課金データ（図 1 5）が携帯電話 2 0 0 に送信される（S 4 1 0）。

## 【 0 0 9 4 】

以上のようにして、本実施の形態に係る通信販売装置は、通信販売においてユーザが商品の入力をする場合、その商品の番号と数量とを携帯電話に入力し、サーバ 1 0 0 へ送信するだけで、通信販売の発注が行なわれる。発注データを受信したサーバは、携帯電話 2 0 0 のハードウェア自身を識別する書換え不可能な識



別番号に基づいて、ユーザデータベースからユーザの住所と氏名とを検索する。検索されたユーザの住所および氏名を含む転送データが、通信販売業者コンピュータに送信され、通信販売業者コンピュータ 3 0 0 が、運送業者コンピュータ 4 0 0 に、購入が要求された商品の配達を依頼する。その結果、書換え不可能な携帯電話のハードウェア自身を特定する識別情報に基づいて、ユーザ情報を検索するため、他人に悪用されることなく、通信販売における商品を容易に発注できる通信販売システムを提供することができる。

## 【 0 0 9 5 】

なお、前述の S 4 1 0 における電子メールによる課金データの送信に代えて、郵送による課金データの通知を行なうようにしてもよい。また、電子メールによる課金データの送信に加えて、郵送による課金データの通知を行なうようにしてもよい。

## 【 0 0 9 6 】

## ＜第 2 の実施の形態＞

本発明の第 2 の実施の形態に係る通信販売システムは、前述の第 1 の実施の形態における受注処理が異なる。それ以外のハードウェア構成およびフローチャートについては前述の第 1 の実施の形態と同じである。したがって、それらについてのここでの詳細な説明は繰返さない。

## 【 0 0 9 7 】

図 2 0 を参照して、本実施の形態に係るサーバ 1 0 0 から通信販売業者 3 0 0 へ送信される転送データについて説明する。図 2 0 に示すように、転送データは、ヘッダと、このデータが転送データであることを示す転送フラグと、ユーザ ID と、発注商品番号と、発注数量とを含む。

## 【 0 0 9 8 】

本実施の形態に係る転送データは、前述の第 1 の実施の形態に係る転送データと異なり、ユーザの住所および氏名を含まない。

## 【 0 0 9 9 】

図 2 1 を参照して、通信販売業者コンピュータ 3 0 0 から運送業者コンピュータ 4 0 0 へ送信される配達依頼データについて説明する。図 2 1 に示すように、

配達依頼データは、ヘッダと、このデータが配達依頼データであることを示す配達依頼フラグと、ユーザIDと、購入IDと、発注商品番号と、発注数量とを含む。本実施の形態に係る配達依頼データは、前述の第1の実施の形態に係る配達依頼データと異なり、ユーザの氏名および住所を含まない。

#### 【0100】

図22を参照して、運送業者コンピュータ400からサーバ100へ送信されるユーザ情報問合せデータについて説明する。図22に示すように、ユーザ情報問合せデータは、ヘッダと、このデータが問合せデータであることを示す問合せフラグと、ユーザIDとを含む。このユーザ情報問合せデータは、通信販売業者コンピュータから配達依頼データを受信した運送業者コンピュータ400が、配達先であるユーザの住所および氏名を認知するために、サーバ100に送信する。

#### 【0101】

図23を参照して、サーバ100から運送業者コンピュータ400へ送信されるユーザ情報回答データについて説明する。図23に示すように、ユーザ情報回答データは、ヘッダと、このデータが回答データであることを示す回答フラグと、ユーザIDと、住所と、氏名とを含む。このユーザ情報回答データは、運送業者コンピュータ400からユーザ情報問合せデータを受信したサーバ100が、運送業者コンピュータ400に送信するデータである。

#### 【0102】

図24を参照して、本実施の形態に係るサーバ100で実行されるプログラムは、受注処理に関し、以下のような制御構造を有する。図24に示す処理の中で、前述の第1の実施の形態における図16の処理と同じ処理については、同じステップ番号を付してある。そのため、それらについてのここでの詳細な説明は繰返さない。

#### 【0103】

携帯電話200から図7に示す発注データを受信したサーバ100のCPU120は、ユーザIDを付与した後(S106)、S1100にて、CPU120は、図20に示す転送データを作成する。このとき、作成される転送データは、

ユーザの住所および氏名を含まない。S1102にて、CPU120は、S1100にて作成された転送データを通信販売業者コンピュータ300に送信する。

【0104】

図25を参照して、サーバ100で実行されるプログラムは、ユーザ情報回答処理に関し、以下のような制御構造を有する。

【0105】

S1200にて、CPU120は、運送業者コンピュータ400から図22に示すユーザ情報問合せ情報を受信したか否かを判断する。運送業者コンピュータ400からユーザ情報問合せデータを受信すると（S1200にてYES）、処理はS1202へ移される。一方、運送業者コンピュータ400からユーザ情報問合せデータを受信しないと（S1200にてNO）、処理はS1200へ戻され、運送業者コンピュータからのユーザ情報問合せデータの受信を待つ。

【0106】

S1202にて、CPU120は、受信したユーザ情報問合せデータに含まれるユーザIDに基づいて、図5に示すユーザデータベースから、ユーザの住所および氏名を読み出す。S1204にて、CPU120は、読み出したユーザの住所および氏名に基づいて、図23に示すユーザ情報回答データを作成する。S1206にて、CPU120は、S1204にて作成されたユーザ情報回答データを運送業者コンピュータ400に送信する。

【0107】

以上のような構造およびフローチャートに基づく、通信販売システムの動作について説明する。

【0108】

〔発注動作〕

携帯電話200のユーザが、発注商品番号と発注数量とを入力して、サーバ100へ発注データの送信要求を行なうと、サーバはそのデータを受信する（S100にてYES）。発注データに含まれる識別番号に基づいて、ユーザIDが読み出される（S102）。ユーザIDを含み、ユーザの住所および氏名を含まない転送データ（図20）が作成され（S1100）、作成された転送データ（図2

0) が通信販売業者コンピュータ300に送信される(S1102)。

【0109】

〔ユーザ情報回答動作〕

ユーザIDを含み、ユーザの住所および氏名を含まない転送データ(図20)を受信した通信販売業者のコンピュータ300は、受信した転送データ(図20)に基づいて、配達依頼データ(図21)を作成する。通信販売業者コンピュータ300は、作成された配達依頼データ(図21)を運送業者コンピュータ400に送信する。通信販売業者コンピュータ300から配達依頼データ(図21)を受信した運送業者コンピュータ400は、受信した配達依頼データに含まれるユーザIDに基づいて、ユーザ情報問合せデータ(図22)を作成する。運送業者コンピュータ400は、作成されたユーザ情報問合せデータ(図22)をサーバ100に送信する。サーバ100は、運送業者コンピュータ400からそのデータを受信すると(S1200にてYES)、受信したユーザ情報問合せデータに含まれるユーザIDに基づいて、図5に示すユーザデータベースからユーザIDにより特定されるユーザの住所および氏名を検索する(S1202)。検索されたユーザの住所および氏名に基づいて、ユーザ情報回答データ(図23)が作成され(S1204)、作成されたユーザ情報回答データ(図23)が運送業者コンピュータ400に送信される(S1206)。

【0110】

以上のようにして、本実施の形態に係る通信販売システムによると、サーバから通信販売業者コンピュータに送信される転送データには、ユーザの住所および氏名を含まず、ユーザIDのみを含む。通信販売業者は、ユーザIDのみによっては、ユーザの住所および氏名を認知することができない。一方、通信販売業者コンピュータから配達依頼データを受信した運送業者コンピュータは、ユーザIDに基づいて、サーバにユーザの住所および氏名を問合せ。運送業者コンピュータは、サーバから送信されたユーザの住所および氏名と、通信販売業者コンピュータから送信された発注商品番号および発注数量とに基づいて、指定された住所に発注された商品を配達する。その結果、住所および氏名などの個人情報の流出を防ぎ、通信販売における商品を容易に発注できる通信販売システムを提供す

ることができる。

【 0 1 1 1 】

今回開示された実施の形態はすべての点で例示であって制限的なものではないと考えられるべきである。本発明の範囲は上記した説明ではなくて特許請求の範囲によって示され、特許請求の範囲と均等の意味および範囲内でのすべての変更が含まれることが意図される。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の第 1 の実施の形態に係る通信販売システムの全体構成図である。

【図 2】 図 1 に示すサーバを実現するコンピュータの外観図である。

【図 3】 図 2 に示すコンピュータの制御ブロック図である。

【図 4】 図 1 に示す携帯電話の制御ブロック図である。

【図 5】 第 1 の実施の形態に係るサーバの固定ディスクに記憶されるユーザデータベースを示す図である。

【図 6】 第 1 の実施の形態に係るサーバの固定ディスクに記憶される課金データベースを示す図である。

【図 7】 第 1 の実施の形態に係る携帯電話からサーバへ送信される発注データを示す図である。

【図 8】 第 1 の実施の形態に係るサーバから通信販売業者コンピュータへ送信される転送データを示す図である。

【図 9】 第 1 の実施の形態に係る通信販売業者コンピュータからサーバへ、サーバから携帯電話へ送信される受注確認データを示す図である。

【図 1 0】 第 1 の実施の形態に係る携帯電話からサーバへ、サーバから通信販売業者コンピュータへ送信される受注確認回答データを示す図である。

【図 1 1】 第 1 の実施の形態に係る通信販売業者コンピュータから運送業者コンピュータへ送信される配達依頼データを示す図である。

【図 1 2】 第 1 の実施の形態に係る運送業者コンピュータからサーバへ、サーバから携帯電話へ送信される配達確認データを示す図である。

【図 1 3】 第 1 の実施の形態に係る携帯電話からサーバへ、サーバから運

送業者コンピュータへ送信される配達確認回答データを示す図である。

【図 14】 第 1 の実施の形態に係る通信販売業者コンピュータからサーバへ送信される課金要求データを示す図である。

【図 15】 第 1 の実施の形態に係るサーバから携帯電話へ送信される課金データを示す図である。

【図 16】 第 1 の実施の形態に係る受注処理を示すフローチャートである。

【図 17】 第 1 の実施の形態に係る受注確認処理を示すフローチャートである。

【図 18】 第 1 の実施の形態に係る配達確認処理を示すフローチャートである。

【図 19】 第 1 の実施の形態に係る課金計算処理を示すフローチャートである。

【図 20】 本発明の第 2 の実施の形態に係るサーバから通信販売業者コンピュータへ送信される転送データを示す図である。

【図 21】 第 2 の実施の形態に係る通信販売業者コンピュータから運送業者コンピュータへ送信される配達依頼データを示す図である。

【図 22】 第 2 の実施の形態に係る運送業者コンピュータからサーバへ送信されるユーザ情報問合せデータを示す図である。

【図 23】 第 2 の実施の形態に係るサーバから運送業者コンピュータへ送信されるユーザ情報回答データを示す図である。

【図 24】 第 2 の実施の形態に係る受注処理を示すフローチャートである。

【図 25】 第 2 の実施の形態に係るユーザ情報回答処理を示すフローチャートである。

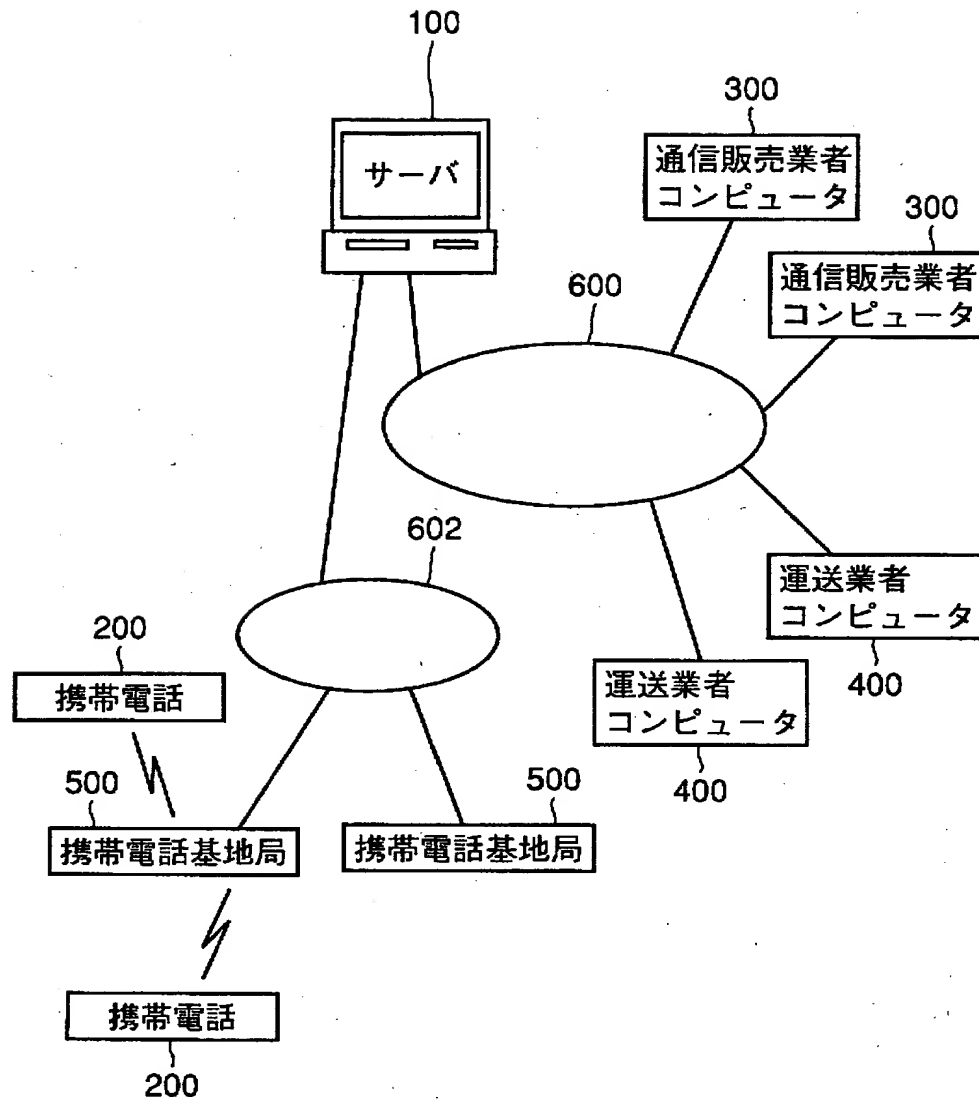
【符号の説明】

100 サーバ、102 コンピュータ、104 モニタ、106 FD 駆動装置、108 CD-ROM 駆動装置、110 キーボード、112 マウス、116 FD、118 CD-ROM、120 CPU、122 メモリ、12

4 固定ディスク、128 通信インターフェイス、200 携帯電話、220 制御部、230 通信部、240 記憶部、250 入出力部、250 操作部、254 表示部、256 音声入力部、258 音声出力部、300 通信販売業者コンピュータ、400 運送業者コンピュータ、500 携帯電話基地局、600、602 ネットワーク。

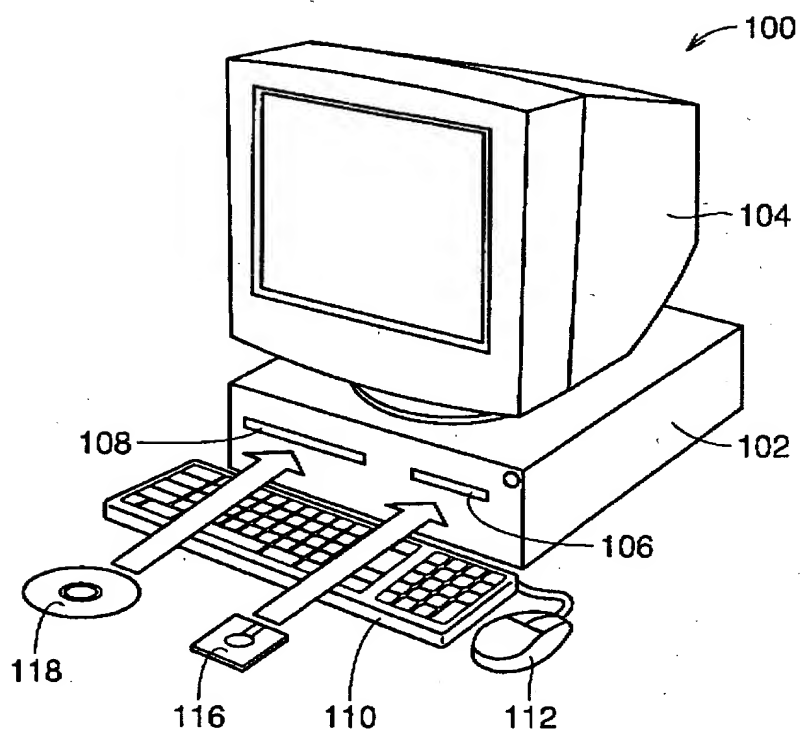
【書類名】 図面

【図 1】

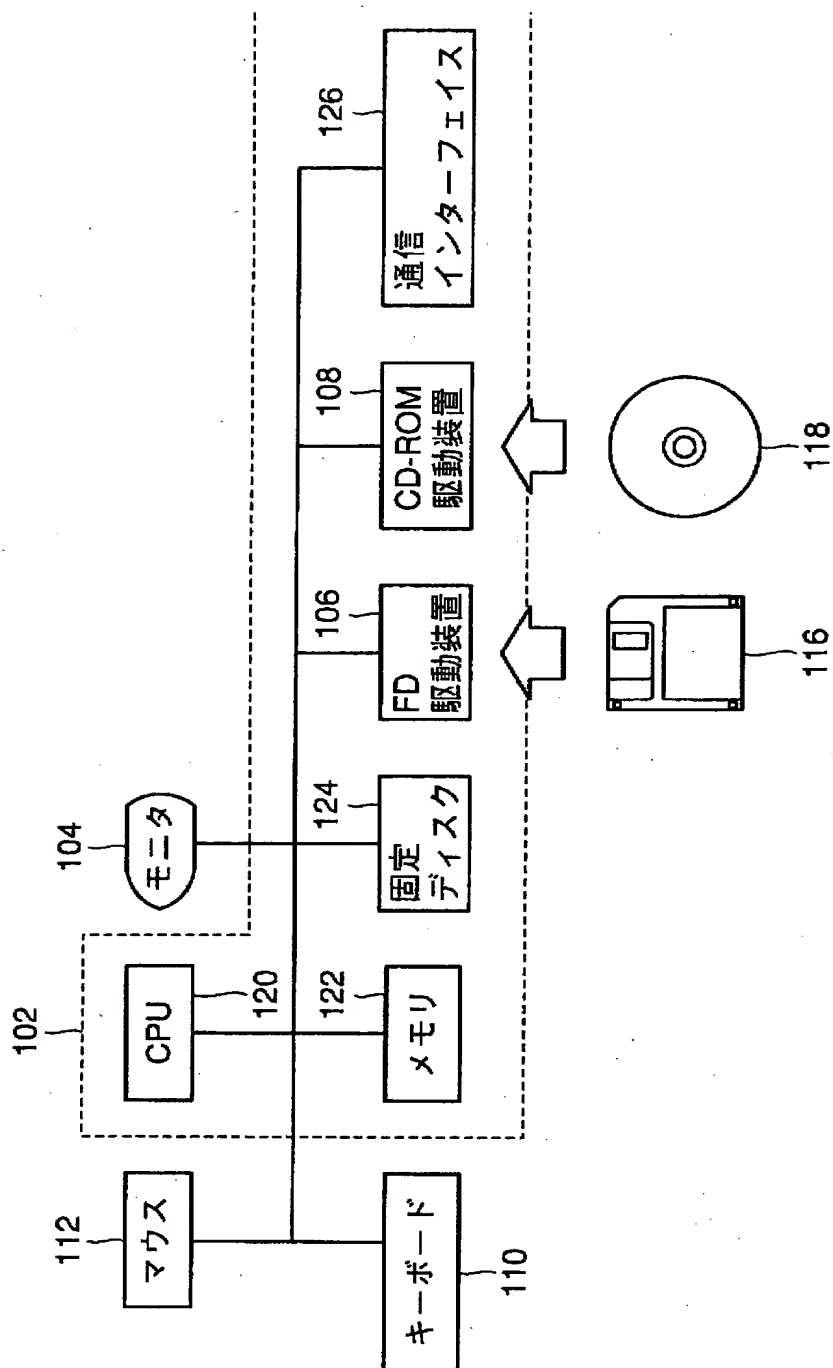




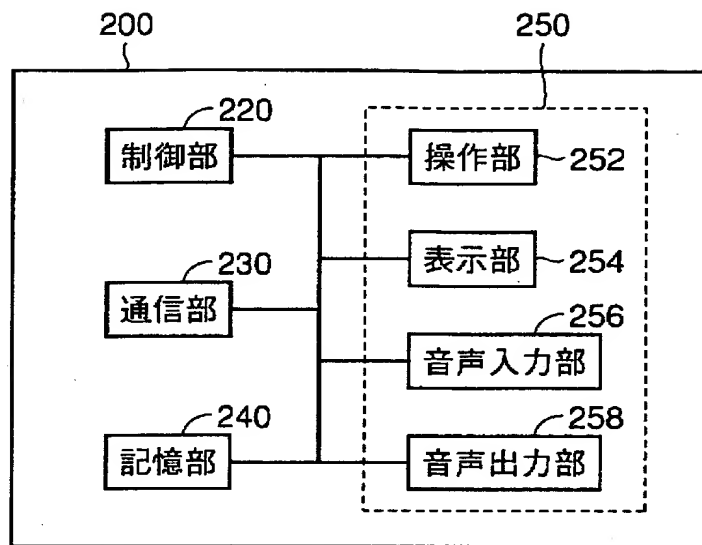
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【図 5】

識別 番号	ユーザID	携帯電話 番号	氏名	住所	メール アドレス
abc01943832	user1001	090-1234-5678	...	...	...

【図6】

ユーザID	通信金額			通信販売金額			
	基本 使用料	通話料	月度 累計	購入ID	商品 金額	送料	月度 累計
user1001	¥2000	—	¥2000	2001	¥3000	¥500	¥3500
	—	¥20	¥2020	2002	¥2400	¥500	¥6400
	—	¥100	¥2120	2004	¥3300	¥500	¥10200
	—	...	...	...	...	...	...
	—	...	¥4500	...	...	...	¥23000
user1002	...	...	...	...	...	...	...
user1003	...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...

【図7】

発注データ 携帯電話 → サーバ					
ヘッダ	発注フラグ	識別番号	携帯電話番号	発注商品番号	発注数量

【図 8】

転送データ サーバ → 通信販売業者コンピュータ						
ヘッダ	転送フラグ	ユーザID	発注商品番号	発注数量	住所	氏名

【図 9】

受注確認データ 通信販売業者コンピュータ → サーバ → 携帯電話				
ヘッダ	受注確認フラグ	ユーザID	発注商品番号	発注数量

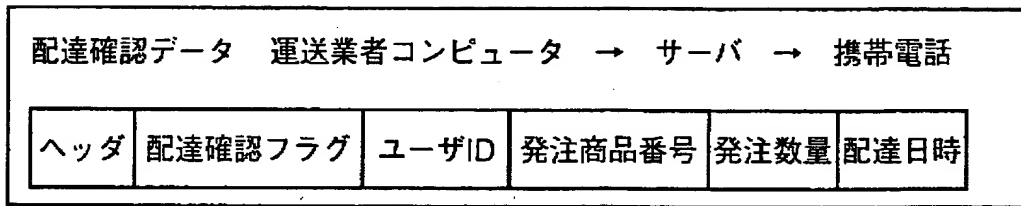
【図 10】

受注確認回答データ 携帯電話 → サーバ → 通信販売業者コンピュータ			
ヘッダ	受注確認回答フラグ	ユーザID	受注確認回答情報

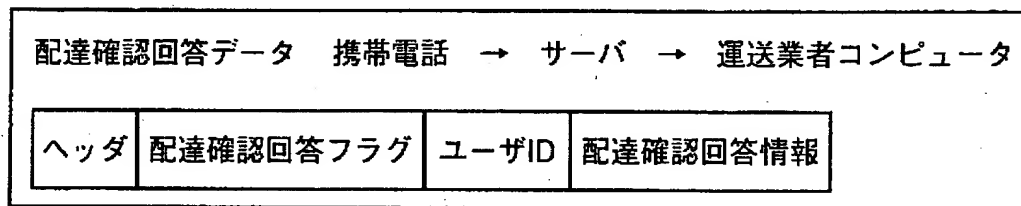
【図 11】

配達依頼データ 通信販売業者コンピュータ → 運送業者コンピュータ							
ヘッダ	配達依頼フラグ	ユーザID	購入ID	発注商品番号	発注数量	住所	氏名

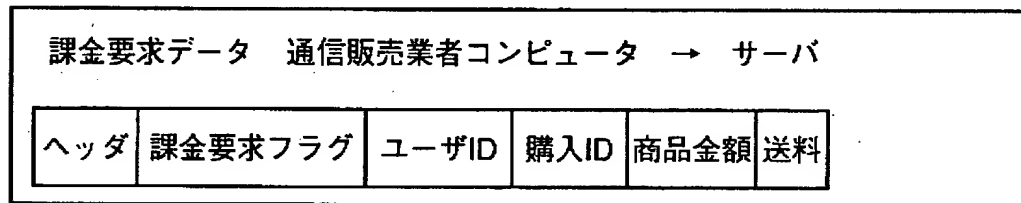
【図12】



【図13】



【図14】

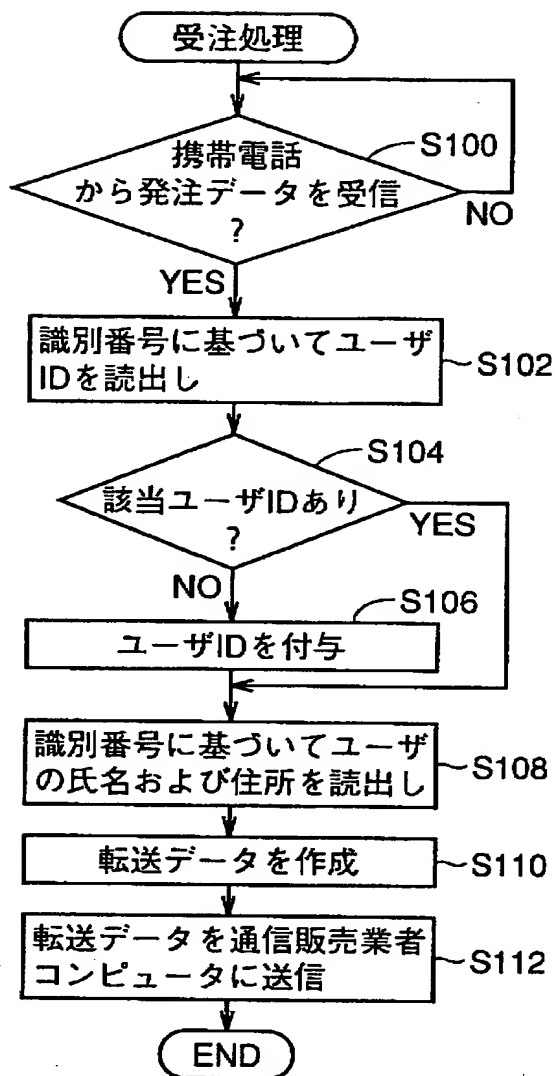


【図 15】

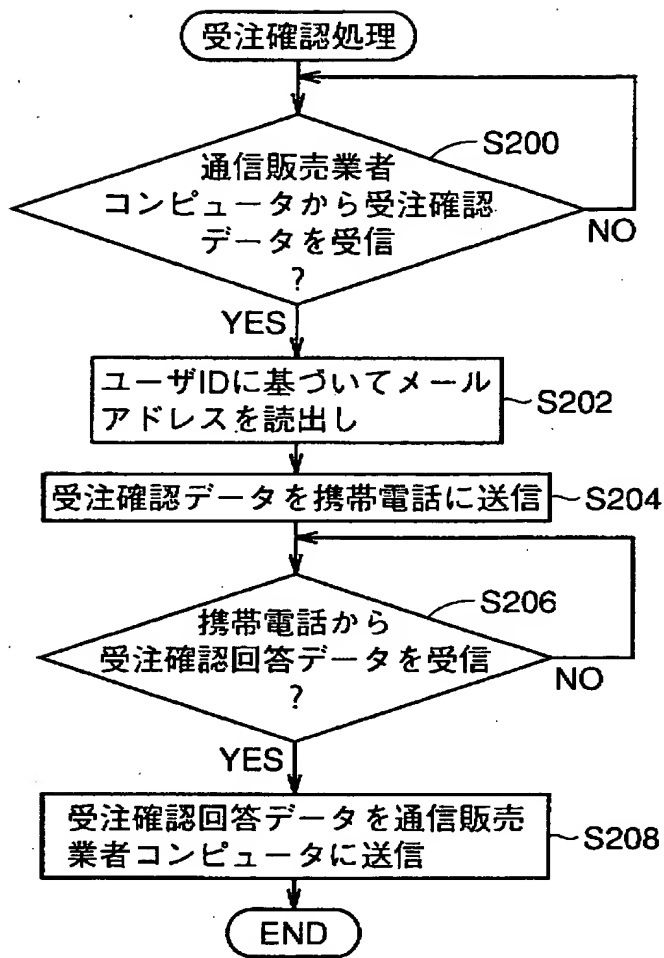
課金データ サーバ → 携帯電話					
ヘッダ	課金フラグ	ユーザID	請求金額	月度累計通信金額	月度累計通信販売金額



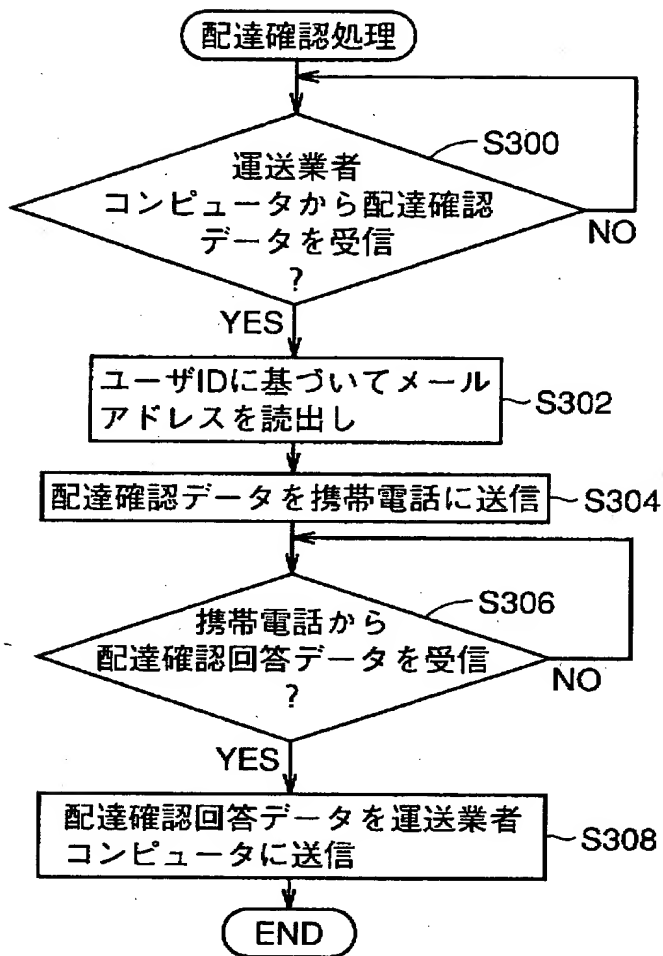
【図 16】



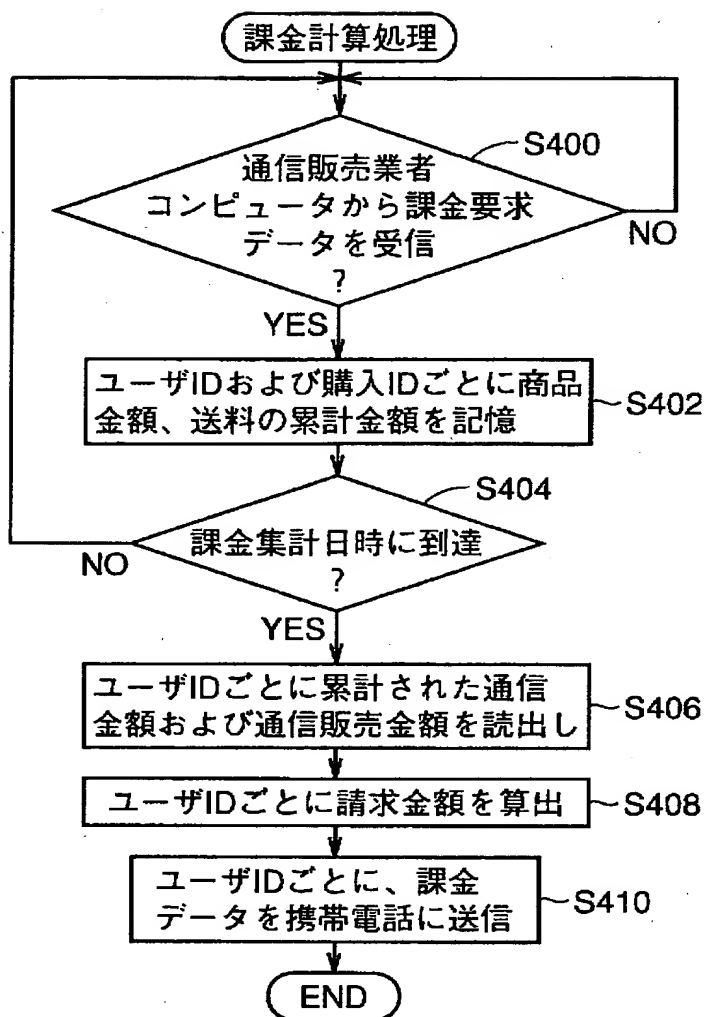
【図 17】



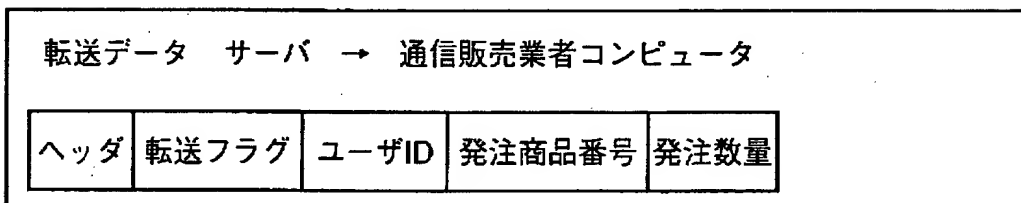
【図 18】



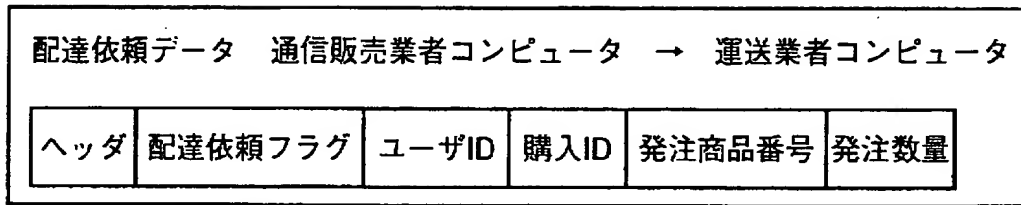
【図19】



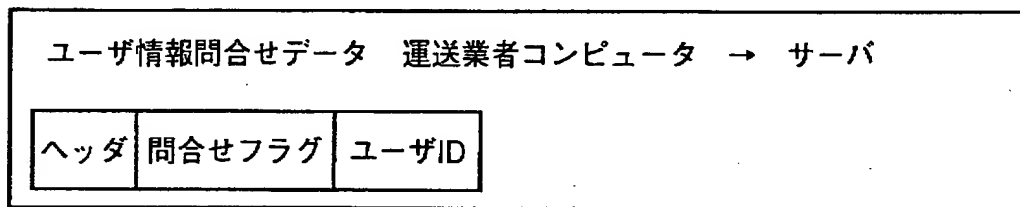
【図20】



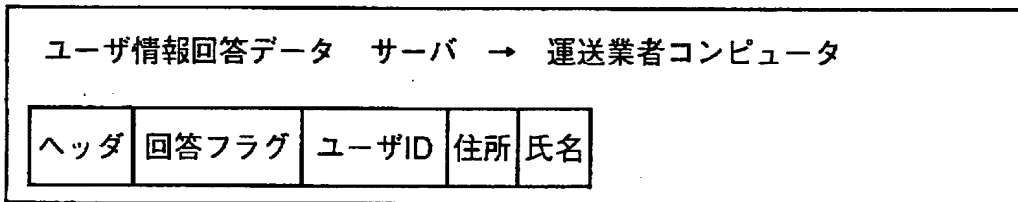
【図 2 1】



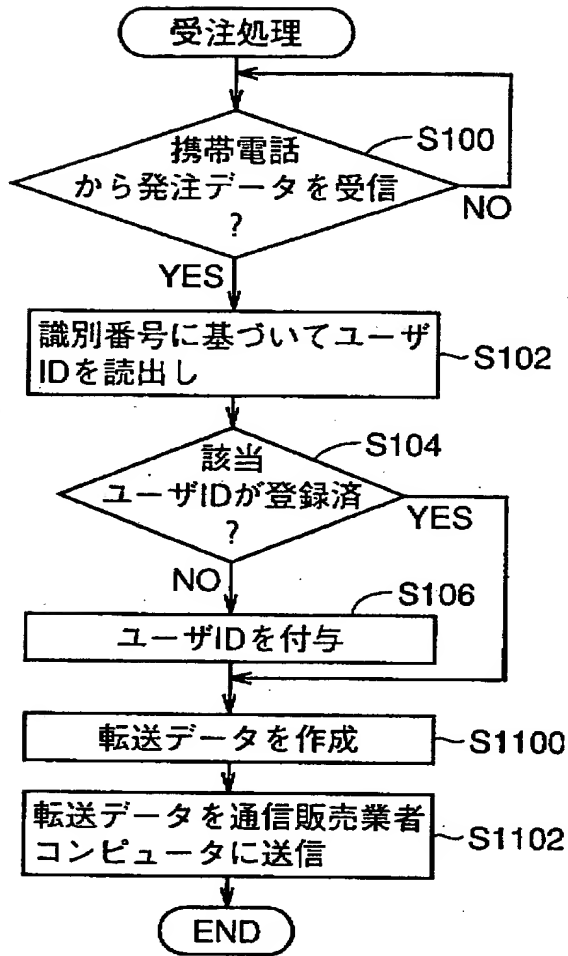
【図 2 2】



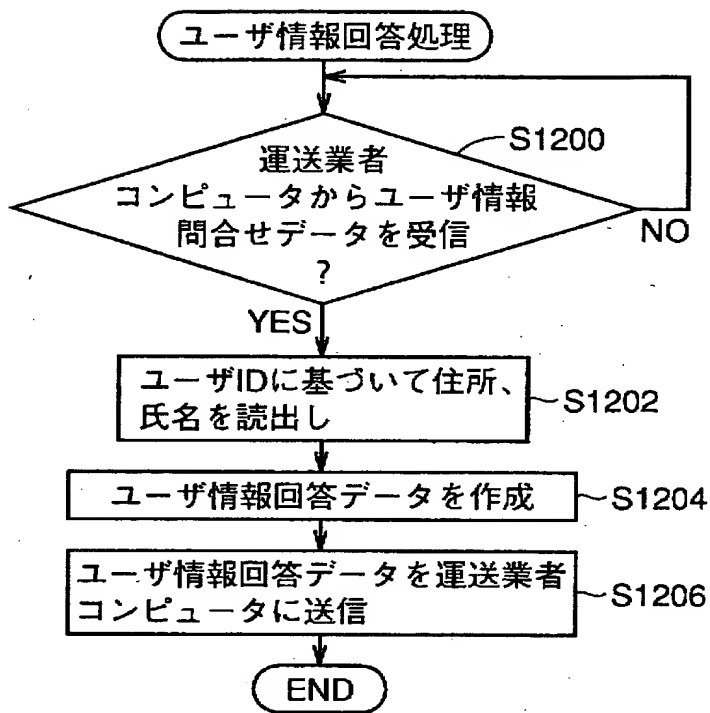
【図 2 3】



【図 2 4】



【図 25】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 通信販売において、他人に悪用されることなく、携帯電話を用いて商品を容易に発注する。

【解決手段】 携帯電話は、携帯電話自身のハードウェアを識別するための、書換え不可能な識別データを記憶する。ユーザが購入したい商品を特定する発注データが携帯電話に入力されると、識別データが読出されて、識別データと発注データとが送信される。通信販売方法は、携帯電話を使用するユーザの氏名および住所を予め準備するステップと、携帯電話から識別データと発注データとを受信すると（S100にてYES）、受信した識別データに基づいて、その携帯電話200を使用するユーザの氏名および住所を読出すステップ（S108）と、発注データと、ユーザの氏名および住所とを通信販売業者のコンピュータに送信するステップ（S112）とを含む。

【選択図】 図16



出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000006013]

1. 変更年月日 1990年 8月24日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

氏 名 三菱電機株式会社